

# 学校改革！教職員の時間創造プロジェクト

～働きやすい環境づくりのために～

ニュースレター

2022年10月



Vo.7

月下美人

## 幼稚園、高校・専門学校、特別支援学校分科会を開催しました

### ★幼稚園分科会（8月3日）

- ・再任用主任主事の先生が増え、子どもを見る目が増えたことで安心感が高まった。また、教材づくり等も一緒に行えるようになり、職員の業務負担の軽減にもつながった。
- ・『計画年休取得（年休を取る日を事前に決め、かわりに入る人を決めておく）』に、取り組んでみようと考えている。
- ・翌月の定時退勤日を職員会議で先生方に決めてもらい、実施している。
- ・持ち帰り仕事を減らすため、指導記録や計画作成及び話し合いの時間を設け効率化した。
- ・会議の時間は、30分から40分と決めている。



### ★高等学校・専門学校分科会（8月29日）

- ・校外のグラウンドなど、学校外で勤務している場合はその場で退勤打刻をすることができず、翌日に打刻修正しているため、出退勤打刻のシステム化を進めてほしい。
- ・課外や部活動に従事する職員や夜間対応（専門学校）の職員の勤務時間について課題がある。
- ・職員室のフリーアドレス化など、職場環境の改善に取り組みたい。



### ★特別支援学校分科会（8月31日）

- ・教頭がいると安心して残っている職員が多いので、教頭から先に「今日は、先生方何時になりますか？」「今日は〇時までには出たいな。」などと声をかけている。その中で、まだ残りたいという職員に対しては、現在行っている業務について話し合いをしながら進めるようにしている。
- ・指導主事が週に2日間来校され、卒業生の就労先の訪問や情報共有などの進路支援にあたっていただいております、大変助かっています。
- ・児童生徒の安全を確保するために常に緊張感をもって支援している。職員が無理をせず働ける人的支援が課題である。



以上のとおり、各学校・園の実態に応じて工夫された取組や課題が出されました。分科会で出たご意見等について、教育委員会事務局でも検討会を開き対応策を考えるなど、取組を進めているところです。

## 熊本市の部活動改革について



### アンケートへのご協力をお願い

『熊本市部活動改革検討委員会』での議論を深めるための基礎調査として、現在の活動の実態や今後の見通しについてお尋ねするアンケートを、中学生とその保護者等、小中学校の教職員を対象として実施いたします。ご多用中とは存じますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

部活動は、教育活動の一環として学習指導要領に位置付けられた活動である一方、部活動の設置・運営は法令上の義務として求められるものではなく、必ずしも教職員が担う必要がない業務と位置付けられています。実態としては、教職員の献身的な勤務によって支えられており、持続可能な部活動と学校の働き方改革の両方を実現していくことが求められています。

本市でも、「学校改革！教職員の時間創造プロジェクト」会議分科会の1つとして『部活動のあり方検討会』を設け、先生方や本庁関係課とともに協議を進めています。スポーツ庁及び文化庁から示されている課題を整理するとともに、熊本市の部活動の現状や課題について話し合いを進めています。12月からは、教育委員会の附属機関として、外部有識者や学校、地域団体の代表等で構成される『熊本市部活動改革検討委員会』を設置し、方向性をまとめていく予定です。

2学期は、学校行事も多くご多用な毎日を送られていることと思います。また、寒暖差の大きい気候となっております。体調を崩されないよう、お気を付けください。



次号では、全国及び本市の学校の『働き方改革』の取組を紹介します。

